

平成26年度 滋賀県がん診療連携協議会・第3回診療支援部会 議事概要

日時	平成27年2月25日(水) 18時00分～19時20分
場所	滋賀医科大学医学部附属病院 D病棟1階 多目的室
出席者	滋賀医科大学医学部附属病院(部会長:安藤消化器内科診療科長)、滋賀県立成人病センター(嶋田主査)、市立長浜病院(伏木放射線科責任部長)、大津市民病院(青木副院長)、草津総合病院(卜部産婦人科副院長)、済生会滋賀県病院(重松消化器内科副院長(代理:石井))、近江八幡市立総合医療センター(石川消化器内科部長)、長浜赤十字病院(駒井消化器内科部長)、東近江総合医療センター(来見副院長)、滋賀県歯科医師会(松井公衆衛生部会副部長)、滋賀県薬剤師会(中嶋介護福祉委員会委員)、滋賀県放射線技師会(山田理事)、滋賀県歯科衛生士会(山本監事)、滋賀県放射線治療連絡協議会(芥田会長)、滋賀県健康医療福祉部(鈴木健康医療課がん・疾病対策室主席参事)
欠席者	【部会事務局】滋賀医科大学医療サービス課(小林課長、浅井課長補佐) 大津赤十字病院(副部会長:土井副院長)、滋賀県立成人病センター(副部会長:川上副院長)、公立甲賀病院(井田顧問)、彦根市立病院(來住診療局主任部長)、滋賀県医師会(中野草津栗東医師会理事)、滋賀県看護協会(三上専務理事)、滋賀県病院薬剤師会(寺田会長)
陪席者	【準部会員】滋賀医科大学医学部附属病院(醍醐腫瘍センター長) 滋賀県がん患者団体連絡協議会(菊井会長)、滋賀県健康医療福祉部(奥井がん・疾病対策室副主幹)

1. 報告

草津総合病院の部会員交代により新部会員として卜部産婦人科部長に参加していただくこと、また、本日は、滋賀県がん患者団体連絡協議会の菊井会長にご参加いただき、現況報告の項目選択等についてご協力をお願いしていることの説明があり、卜部部長、菊井会長の紹介があった。

2. 議題

(1)平成26年度の取組の進捗について

各病院の専門性を生かした分担のための機能調査

拠点病院が毎年提出している現況報告の各項目を支援病院も含めて本協議会のホームページに掲載して各病院の機能等を一般の方が閲覧できるようにしようということを目的として進めているものである。

他都道府県で同種のホームページを運用している大阪府、広島県のサイトを閲覧しながら、各部会員が項目を選択して提出していただいた意見をまとめた項目一覧に、大阪府、広島県のサイトの掲載項目を○印で付記した一覧表により議論した。

・例えば、放射線機器一覧を見て患者さんがどのような治療ができるのか多分わからないと思うので、単純に数値が大きい方が良い等の素人判断に繋がらないような工夫、項目を見て治療選択をするときの判断ができる情報が必要である。

・放射線機器の列数があるが、医療関係者は理解できても一般の方には困難であると思えるので、専門的な情報は、がん情報サイトのがんの治療等、別のところにコメントを入れるようにすること等も必要と考える。

・大阪のサイトでは説明が掲載されているので、滋賀県においても参考にして取り入れていきたい。

- ・ちなみに、循環器領域ならばともかく、がんに関して放射線機器の列数が必要かというところでもなく、先ほどの素人判断に繋がることもあり得る。
- ・すべての項目を掲載しても見ていただけないので、一般の方が必要とする項目の選択が大切で、専門項目は別のところに詳細説明を掲げることがよいのではないかと。
- ・大阪のサイトには患者目線で作成されている大阪がんええナビサイトがあり、がん種から展開できる機能等の内容紹介をした。また広島サイトでは、診療機能から展開していく病院検索等について内容紹介した。
- ・集計表で提示している項目は単純に拾い上げてまとめたものなので、皆様のご意見、大阪等のサイトでの表現等を参考にし、わかりやすく再調整したうえで次回見ていただくこととする。

(2) 先進的（高度）ながん医療について

がん治療が必要な患者さんに対する妊よう性温存の医療機関連携について、高度医療の取組みとして、本部会で取り上げるものなのかまだ判断できないが、県内の医療関係者にがん患者さんに対する生殖医療の情報提供を行っていくためのネットワークの構築に関して、滋賀医大の担当者（河合医師、園田医師）から具体の説明があり議論した。

- ・岐阜県が第1号として構築され、滋賀ほか5県で検討中である。
- ・先日2月11日に研修会を実施し多くの幅広い意見を頂けた。
- ・案として、医大内にネットワーク事務局を置かせていただき普及発展させていきたいと思っている。
- ・先日の研修会においては各機関の中核メンバーが出席していて非常に充実した会であった。滋賀県全域で是非取り組むべきものと思っており、県、協議会も後援しているので、ネットワークに関しては一緒に進めていきたいと思っている。
- ・この部会でも関係があるが、相談支援部会でも提案して来年度連携して進めていくこととした。
- ・市立長浜病院から滋賀医大に照会した実例を報告していただいた。
遅らせることなくがん治療を開始できる。妊よう性に言及しないで患者さんに恨まれないようにすることが重要になってくる。今後そういうような時代になってくると考えられるので、協力していきたい
- ・先日、医大の相談支援部門に問い合わせたがご存じなかったため、どこに連絡が入ってもきっちり担当医につなげられるよう早めに体制を整えていただきたい。

(3) がん情報サイト(仮)について

滋賀県から、がん情報サイト開設の進捗状況等について次の説明があった。

がん対策の情報サイトを作りあげるということを滋賀県も考えていたが、前診療支援部会長のときに、各病院の強みをどこかできっちり紹介しなければならないという話がまとまり、がん対策情報サイトをぜひ利用しようということで、現部会長に引き継がれてきたところである。

- ・サーバーは県のサーバーを使用するということが堅い面がある。
- ・費用についてはがん基金を活用しようということになった。
- ・2月に制作会社を選定し、その会社がデザインとか内容に関してプロトタイプを作成し、そのベータ版を患者会、相談支援部会、検討委員の皆様に見ていただき、たくさんの意見をいただいてリフレッシュした内容について供覧紹介された。
- ・今までは、がんに関しては滋賀県がん診療連携協議会のホームページしかなくて、非常に味気ないものであったが、このようにさわやかな感じに出来上がっており、がんに関する情報をわかりやすく見ていただけるようにしている。この中のがんを治すというところに当部会で検討している各病院の強みの情報を盛り込んでいきたいと考えている。

・2月27日に検討会を開催して、トップページのデザインの検討と具体的内容の役割分担をお願いしてアップしていこうとしている。

・ただ時間が少ないため、本年度に関しては、サイトを開設したことにして、来年度は、新たにワーキングを設置して内容に関して肉付けするようにしていきたい。

27年度においては、県の規定により現制作会社と随意契約は困難であるが、よりわかりやすいサイトを目指していきたい。

・新たなワーキングメンバーに関しては県の方で人選等検討しているところであり、具体的専門的に判断していくこととし、内容についてはこの部会で逐一報告していくこととしている。

・今後、このサイトに妊よう性の情報を入れたり、放射線治療連絡協議会のホームページにリンクさせたりしていける。

・この部会の今後の進め方は、まず最初に、鈴木主席参事に進捗状況を説明していただいたあとで、先ほどの項目とかの話をした方がわかりやすいかもしれないとの意見があり、鈴木主席参事から、県のホームページとこの部会での特色を生かすということはある意味リンクしており、ここにもろに入ってくるので出来るだけ早くどの項目を入れるかということは決めていきたいとの発言があった。

部会長から、まずは台を作って先生方に磨いていっていただき出来上がっていくものだと思うので、すこしずつ一段階一段階進めていきたいのでご協力をお願いしたいことの依頼があった。

(4)今年度各団体の取組の結果と27年度の取組予定について

(滋賀県医師会) 欠席

(滋賀県病院薬剤師会) 欠席

(滋賀県薬剤師会)

26年度

・滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師の新規養成およびフォローアップを実施した。

・医療用品共有システムおよび在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの継続的な運用を実施した。

・滋賀医大や成人病センターなどで行われるがん関連研修会への参画 等、予定通り実施した。

27年度

・滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師のフォローアップの実施

・医療用品共有システム及び在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの継続運用

・滋賀医大や成人病センター等で行われるがん関連研修会への参画

・抗がん剤及び無菌調剤研修会を取り込めたらと考えている。

(滋賀県歯科医師会)

26年度

歯科医療従事者を対象に「全国共通がん医科歯科連携講習会」を3回、開催した。これは歯科医療従事者が、医科との連携でがん患者の口腔ケアを行ううえで必要な「がん治療」に関する基礎的事項、および口腔ケアの実際を研修し、全国のどこでも適切な口腔ケアが受けられる人材の確保を目的として実施された。研修を受けた者で、希望者は「口腔ケア」が実施できる医療機関であることを登録し、医科からあるいは病院歯科からの依頼を受けて、一般の医療機関で、がん患者の口腔ケアを実施する。研修は日本歯科医師会が作成したDVDによって行った。4時間にわたる研修であったが、参加者も多く、口腔ケアに関する関心が高く、充実した研修会となった。

また、口腔がん検診の啓発事業として、県民および市民向けに「歯と口の健康相談」および市民公開講座を滋賀医科大学歯科口腔外科学講座と連携して開催した。

27年度

- 1) がん患者の口腔ケアに関する研修会の実施
- 2) 口腔がん検診の啓発のための公開講座および歯科相談の実施
- 3) 歯科医師および歯科医療従事者の「口腔がん」に関する研修の実施

以上の、項目を行う。

(滋賀県歯科衛生士会)

26年度

今週日曜日に生涯研修会として歯科衛生士のためのがん治療基礎講座の開催を予定している。

27年度

がんをテーマで研修会を開催

周術期口腔衛生管理について衛生士の立場から人材育成プログラムを立ち上げる計画をしている。

(滋賀県放射線治療連絡協議会)

取組結果と次年度の予定は資料のとおりである。

当会は放射線技師、放射線医師等の多職種で構成しており、他の団体と少し異なる部分を持っている。

先にお話の出ていた会のホームページの立上げを検討しており来年度間に合えばという状況である。

(滋賀県看護協会) 欠席

(滋賀県放射線技師会)

26年度

計画通り研修会を3回開催した。がんに関するものとして6月に「婦人科がん」、11月に「脊髄疾患」をテーマに研修会、1月に「血液がん」をテーマに市民公開講座を行った。また、2月8日第6回滋賀県がん医療フォーラム(草津クレアホール)において展示ブース設営して参加した。

27年度

学術研修会を2回開催とする。(6月28日、11月8日予定)

第1回学術研修会

日 時： 平成27年6月28日(日) 14時～

場 所： 滋賀県立成人病センター研究所講堂

内 容： メインテーマ 『肝・胆・膵がん』

CT・MR・核医学研究会とのコラボレーション 「肝・胆・膵がんの検査について」

特別講演「胆・膵がんにおける内視鏡検査と治療」

講師：滋賀県立成人病センター 消化器内科科長 松村和宜 先生

第2回学術研修会

日 時： 平成27年11月8日(日) 13:30～16:30

場 所： 彦根勤労福祉会館 大ホール

内 容： 転移検索検査の紹介・工夫(以下4施設の若手技師に依頼予定)

大津赤十字病院、長浜赤十字病院、済生会滋賀県病院、公益財団法人豊郷病院

「特別講演」 仮) 転移検索と画像診断について 講師は未定(放射線科医)

(5) PDCAサイクルの指標について

当部会のPDCAサイクルの数値化できる評価指標を絞ることであるが、まずは、がん情報サイトを立上げてその閲覧数を指標にすることとして議論していた。

また、前回の提案として、公開講座や講演会の参加人数を数字指標として使おうかということがあった。

これについて、一つは、湖西医療圏に拠点病院がないので本部会が講演会、公開講座を開催してその参加人数を指標としてはどうかというご意見をいただいた。

・この件については、高島市民病院が地域がん診療病院に指定される前の話であり、3月13日に国で拠点病院等の指定に関する検討会が開かれ高島市民病院と大津赤十字病院のグループ化について説明することになっており認められると思っている。湖西圏域における研修会等は高島市民病院が責任を持つことになるので、援助はするが、指標にすることはないと考える。

以上より、当部会の指標としては、がん情報サイトを立上げてその閲覧数を指標とすることにした。

(6) アクションプランシートの結果評価について

26年度アクションプランの結果自己評価について、中間評価を9月末にして全体として(B)としていた。これの最終評価をすることになる。

今年度の取組として5つの課題について評価をした。

医療機能分担の調査については、診療の強み、専門性を活かした機能分担を行うため、県民にどのような情報を発信していくのかを、現況報告書の情報の中から抽出作業を行った。中間評価ではほぼ計画通りの(B)とした。

先進的(高度)ながん医療の取組については、広く情報提供を行うための各機関のがん医療のページの充実を図るとしていたが中間評価では進捗がなかったとして(B)とした。結果としては、進捗した、実行したということでよいと思う。

診療支援推進の仕組みでは、メーリングリストの活用を図ることを目標にしており、ほぼ計画通り機能しており、概ね達成していると考ええる。

各団体の取組、進捗も計画通りの評価ができる。

ホームページの拡充では、がん情報サイトについて年度末までに作成することとして進んでおり(B)としていたが、目標通り年度末までに作成することができたので、達成できたとする。

以上より、最終的な評価としては、目標をほぼ達成したということで、「A」とする。

(7) その他

1) 妊よう性に関して次の意見があり議論した。

・(患者会) 妊よう性の連携機関数を数値としてあげてもよいのではないか。数値としてあげることによって早く浸透していくのではないか。患者としてはとても大事なことで、広く早く進めていただきたいと思う。関係する先生だけが知っているのではなく、がん治療に関わる皆が知っている、受け皿のある医療機関があるということは大切なことなので、そういうカウントをあげられてもいいのかなと感じた。

・(市立長浜病院) 2月11日の研修会で、各診療の現場へ案内するチラシを早急に作るということが課題になっていたが、この件はこちらのセンターにお任せしておいたらよいのか、或いは部会として何か協力するのか。

・(部会長) 部会として協力できることは当然協力したいと考える。実は医大に居ながらセンターがどこにあるのか把握できていない。

- ・(河合医師) センターは準備中で、いまは、病診連携という形で、木村先生の妊よう性外来で予約をいただいている状況なので、早急にシステムを整えようとしている。
- ・(部会長) 当院病院長を含めてミーティングをして、しっかりした組織を作って進めていきたい。一般の方が関心を持たれて知識を持たれて、それがエネルギーになって病院の中が進むので、大切にしたい。
- ・(県・鈴木主席参事) 2月に第6回目を開催したがん医療フォーラムは、単なる病気の説明とただけではなく、常に3~5年先を見据えて企画している。ということは、この妊よう性に関しても、また治験のネットワークの取組に関しても、第7回の医療フォーラムでご登壇いただくことになるかもしれない。広く皆に知っていただきたい。それと付け加えると就労支援に関してもはじめはアルゴリズムのない、とにかくがん患者さんに対して医者が、あなたは今すぐに仕事をやめる必要はない、まずやめるなどというのがスタートであるが、現実にはしてこなかった。今度、妊よう性に関しても化学療法をこのレジメンでするので同意書を書いてもらい点滴しましょうというのではなく、まず、お子さんどうですかと聞くのがアルゴリズムの1行目になる。そこを徹底するのがネットワークだけではできないかもしれないので、協議会のネットワークを使って徹底することだと考える。

2) 次回の開催日は、6月頃にあらためて日程調整することとした。

○配布資料

診療支援部会 部会員名簿

前回議事概要 (平成26年度 第2回診療支援部会 10月15日開催分)

(資料1) 現況報告書の項目選択

A <現況報告資料一覧>選択用 総表

B がん診療連携拠点病院 病院概要 (様式4 全般事項)

C " 指定要件等 (様式4 機能別)

(資料1-参考 : 他府県のがんサイトトップ画面)

(資料1-参考2 : 大阪がん情報提供サイトの展開例)

(資料1-参考3 : 広島がん医療ネットワーク 機能調査票 (大腸がん例))

(資料2) がん治療と生殖医療について

(資料3) 平成26年度各団体取組結果と平成27年度取組予定

(資料4) PDCAサイクルの評価指標の資料

(資料5) アクションプランシートの結果評価資料